

2010年10月14日
株式会社 IMAGICA

【事例紹介】大規模イベント用 AR システム (Live AR) の技術運用を実施
～独自の AR システムを使用し、大型のライブイベントで新しい映像表現を可能に～

株式会社 IMAGICA（本社：東京都品川区、代表取締役社長：星 正人、以下 IMAGICA）は、9月18日（土）に開催された日本最大級のファッション&音楽イベント“Girls Award JAPAN 2010”（会場：代々木第一体育館）において、株式会社ロボット（以下、ロボット）の企画・プロデュースのもと、学校法人神奈川工科大学（以下、神奈川工科大学）と協力し、世界でも未だ例を見ない大規模な独自 AR システムを使用した映像演出技術を提供しました。

今回のイベントでは、AR マーカーを装着した小道具を持つ出演者を、AR システムにつながった専用カメラで撮影。ライブ映像と AR 用 CG をシステム上でリアルタイムに合成し、ステージ上の大型 LED モニターに表示（別途画像参照）することで、「オープニングアクト」、「EC サイト告知」、「コーナータイトル」などにおいて、ライブイベント向け大規模 AR 技術の運用を成功させました。

IMAGICA は、その CG 事業分野において、株式会社リンクスデジワークス（2010年4月に IMAGICA にその事業を吸収統合）時代より AR（“Augmented Reality”、拡張現実の略）に着目。神奈川工科大学との産学連携プロジェクトを発足させ、独自の AR システムを共同開発するなど、早くから B2B 向け AR 技術サービス推進に取り組んでまいりました。また今回のイベントでは、グループ会社であり、その映像演出において高い評価を得ているロボットと連携することで、最先端映像技術とクリエイティブを融合した、これまでにないライブプロジェクト向けの映像表現を可能にしました。今後もロボットとの連携を強化し、イマジカ・ロボットグループとしてお客様に提供するソリューションの拡充を目指してまいります。

近年、映像は劇場、テレビ、街頭ビジョンなどの従来メディアに限らず、伝えたいメッセージに合わせて多様なメディアで活用されています。特に AR のように強い印象を与える映像表現は、イベントのみならず宣伝、プロモーションなど様々な目的において、より高い効果が期待できます。IMAGICA は今後も新技術に取り組み、お客様のニーズに合わせた最先端の映像技術サービスを提供してまいります。

以上



AR マーカーがついた小道具

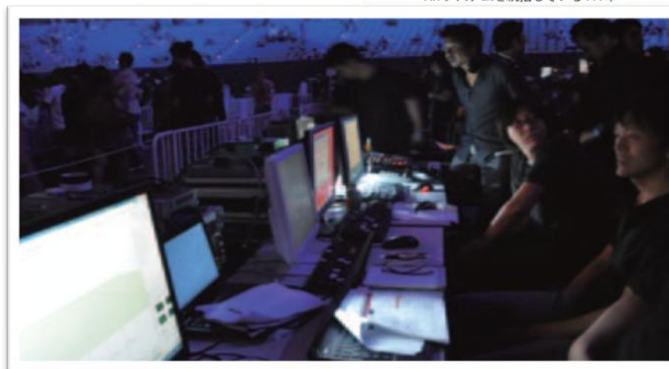


ステッキ (写真:右)
帽子 (写真:上)



AR空間が映ったLED

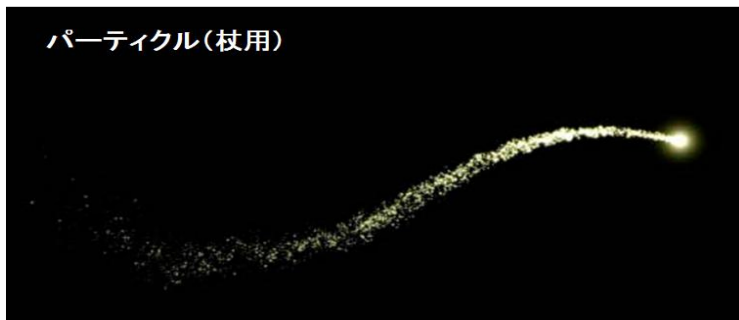
ARシステムを統括しているPA卓



ARシステムにつながったカメラマン
ARマーカーのついた小道具

実写合成用のCG(素材サンプル)

パーティクル(杖用)



本件に関するお問い合わせ先

※ システムと技術に関するお問い合わせ

株式会社 IMAGICA

クリエイティブサービス部 企画営業

新聞 敏雄、秦 明弘

TEL : 03-5420-6138 FAX : 03-5420-6139

shimma.toshio@imagica.jp / hata.akihiro@imagica.jp

※ イベント内容(企画・プロデュース)に関するお問い合わせ

株式会社 ロボット

映像制作事業本部

中村 彰宏

TEL:03-3760-1467 FAX : 03-3760-1468

nakamura@robot.co.jp